

鶴岡市文化会館（荘銀タクト鶴岡）財務書類について

令和7(2025)年6月

このレポートは、鶴岡市文化会館（荘銀タクト鶴岡）のオープン6年目にあたる令和5(2023)年度の財務状況について、民間企業会計の手法にならい、総務省が定めた「統一的な基準による地方公会計制度」（新公会計制度）に基づいて作成した財務書類の概要をお伝えするものです。

これまでの官庁会計による決算だけではわかりにくい資産・負債などのストック情報や、減価償却費等を加えたコスト情報を明確にすることで、市民の皆さんへの説明責任の充実や、マネジメントの強化を今後も図ってまいります。

1 施設の概要



荘銀タクト鶴岡（鶴岡市文化会館）大ホール
（写真提供 鶴岡市教育委員会）

【施設の名称】

荘銀タクト鶴岡（鶴岡市文化会館）
ネーミングライツパートナーを(株)荘内銀行とし、通称を「荘銀タクト鶴岡」としています。

【土地や建物】

- 敷地面積：13,096.84㎡ ➢建築面積：5,756.35㎡
- 延床面積：7,846.12㎡
- 構造：鉄骨造、鉄筋コンクリート造、杭基礎
- 整備総事業費：96億7,600万円

【建物内の設備】

- 客席数 大ホール：固定1,120席、多目的鑑賞室：15席
- 貸室 小ホール、練習室、会議室、楽屋、託児室

【開設の時期】

- グランドオープン 平成30年(2018)年3月

2 施設の稼働状況 令和5(2023)年度

【自主事業】

- 開催事業：17件（前年度13件）
事業内容：右表のとおり
- 入場者合計 12,413人（前年度7,960人）

【貸館事業】

- 利用件数：310件（前年度316件）
主な利用：市内小中学校の合同音楽会や、高校吹奏楽部の演奏会、などの市民利用
- 利用者合計 78,771人（前年度52,451人）

【その他】

- 市民サポーター登録者数
公演サポート部門：36名
アーティスト部門：68団体（個人含）

主な自主事業名 (入場者数500人以上の事業)	実施年月日	入場者数 (人)
劇団四季ファミリーミュージカル『人間になりたがった猫』	R5.4.15	1,000
リチャード・クレイダーマン2023withストリングス・トリオ&パーカッション	R5.5.20	780
森山直太郎 20thアニバーサリーツアー『素晴らしい世界』〈後篇〉	R5.6.17	1,007
東京スカパラダイスオーケストラ2023 HALL TOUR「JUNKorGEM~Spring&Summer」	R5.7.13	1,000
山形交響楽団庄内定期演奏会 第32回 鶴岡公演	R5.8.5	661
大河ドラマ「どうする家康」スペシャルトークショー in 鶴岡市	R5.9.9	850
劇団四季ミュージカル『クレイジー・フォー・ユー』	R5.11.10	1,027
航空中央音楽隊 鶴岡公演	R5.12.9	1,000
NHKのど自慢（予選会・本選）	R6.3.9~10	2,211
T U Y 特選落語会~其の伍~ 春風亭一之輔独演会	R6.3.20	1,082

資産と負債（賃借対照表）

資産 79億5,500万円 (前年度 81億5,600万円) 主な内訳 ●土地 2億2,500万円 ●建物等 77億2,700万円 ●物品等 300万円	負債 43億7,000万円 (前年度 49億1,900万円) 主な内訳 ●建設費に充てた市債 43億7,000万円
	純資産 35億8,500万円 (前年度 32億3,700万円)

令和6(2024)年3月31日現在

- 【資産について】
土地建物や物品(ピアノや緞帳、舞台道具)など、事業用の固定資産が、その大半を占めています。
- 【負債について】
建設費に充てた市債の償還残高が、その大半を占めています。
- 【純資産について】
資産と負債の差であり、債務なく将来世代へと引き継がれる、純粋な市民の資産にあたります。

【参考指標】

市民一人当たりの資産と負債

資産

67,518円

(前年68,194円)

負債

37,090円

(前年41,129円)

純資産

30,428円

(前年27,065円)

鶴岡市の人口

117,821人

(令和6(2024)年3月31日現在 住民基本台帳)

【参考指標】

有形固定資産減価償却率 **14.5%** (前年度12.3%)

～耐用年数に対してどのくらい老朽化が進んでいるか

算式：減価償却累計額/有形固定資産(土地等の非償却資産除く)+減価償却累計額

➢建物の耐用年数は、財務書類の作成基準上、50年と設定されています。竣工から間もないため低水準ですが、減価償却が進むことで、今後徐々に上昇していきます。

➢今後の見通し

資産は、建物や物品の減価償却が進むことで徐々に減となりますが、負債についても、市債が15年間で償還されていく予定であることから、それを上回る早さで減となることが見込まれます。

この結果、純資産の形成が進むこととなりますが、建物や設備の経年劣化に計画的に対応し、市民の資産としての価値を保つために、適切に維持補修を図ってまいります。

費用と収益（行政コスト計算書）

科目名	金額(千円)	前年度(千円)
経常費用	419,310	433,725
人件費 運営にあたる職員の給与等	0	0
物件費等 自主事業費、維持補修費等	209,913	205,706
減価償却費	201,066	218,739
支払利息 建設費に充てた市債の利払い	8,331	9,280
その他	0	0
経常収益	41,828	45,814
使用料 チケット代、貸館収入等	29,934	36,657
その他	11,894	9,157
純経常行政コスト (経常費用－経常収益)	377,482	387,911
臨時損失 災害復旧事業費など	-	-
臨時利益 資産売却益など	-	-
純行政コスト	377,482	387,911

- 【経常費用について】
令和3年度からの指定管理委託への運営移行に伴い、人件費はゼロとなっています。物件費等は、自主事業の開催経費等の委託料の増額と、原油価格や物価の高騰に伴う光熱水費等の需用費の増額により、前年比で約420万円の増額となっています。
- 【経常収益について】
自主事業によるチケット代収入等が減額となったことにより、前年比で約400万円の減となっています。
- 【純行政コストについて】
経常収支と臨時収支の合計額で、文化会館の運営にあたり、市が負担しているコストにあたります。

【参考指標】

市民一人当たりのコスト **3,204円** (前年度3,243円)

算式：純行政コスト/住民基本台帳人口 (117,821人※)

※令和6(2024)年3月31日現在

【参考指標】

受益者負担比率 **10.0%** (前年度10.6%)

～費用はどのくらい収益でまかなわれているか

算式：経常収益/経常費用

➢今後の見通し

令和3(2021)年度から指定管理委託による運営に移行しており、引き続き、経常収支の改善、純行政コストの削減など、運営のさらなる効率化を図ってまいります。